

■施設規模に関する市の考え方

新体育館の施設規模については、基本コンセプトや機能を踏まえ、以下のとおり、検討しています。

1 施設規模

現在の体育センターは、アリーナ面積が 843.8 m²（バスケットボール 1 面又はバレーボール 2 面）となっており、県内他自治体の施設と比較しても狭小な施設となっています。一方で、利用者数は、本市のスポーツ施設のなかで一番多く（約 5 万 7 千人／年）、稼働率も 100%となっており、老朽化した施設の整備充実を図ってほしいという市民のニーズが高まっています。

このような状況を踏まえ、今後の人口減少時代の到来や本市の財政状況等を考慮し、基本コンセプトである市民の日常的な利用に重点をおいた施設整備や全国大会等の大きな大会の実施頻度、延岡市に建設予定の県体育館の施設規模等も勘案し、新体育館の基本的な施設規模は、以下のとおり、検討しています。

- 【アリーナ】 バスケットボールコート 2 面又はバレーボールコート 3 面
- 【武道場】 柔道場 1 面、剣道場 1 面
- 【観客席】 500 席程度
- 【その他諸室】 トレーニング室、会議室等

○諸室及び概算面積（案）

	設備		面積（m ² ）
1	アリーナ面積	バスケットボール 2 面	1,900
2	観客席	500 席	300
3	武道場	柔道場 1 面・剣道場 1 面	800
4	会議室、選手控室		250
5	トレーニング室		250
6.7	更衣室・シャワー室・トイレ		400
8.9.10. 12.13.14	各諸室、備蓄倉庫等		900
11	ホール・ロビー・通路等		700
	空調		
	計		5,500

また、子どもから高齢者まで、誰もが利用できるようユニバーサルデザインの視点を取り入れ、安全・安心で使いやすい施設とすることを基本とし、厳しい財政状況を考慮し、できる限り整備費を抑えるとともに、災害時の防災拠点としての機能も併せ持つ施設を整備します。

以上の施設内容を踏まえ、他自治体の事例を参考に施設規模を簡易的に試算すると、施設規模は 5,000 m²～7,000 m²程度と想定されます。今後、基本計画において、ニーズや必要性をさらに検討し、詳細な規模を決定します。